

## EXPO2025 JPO-WIPO AWARD 受賞スピーチ

鹿島建設株式会社

この度は、JPO-WIPO AWARD の若者活躍部門という素晴らしい賞をいただき、このような国際的な席でご挨拶をさせていただくこと、大変光栄に存じております。関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

鹿島建設は、1840 年にでき、「進取の精神」、これは新しいものに常にチャレンジするということ、この姿勢を大切にまいりました。この姿勢の中で、できるだけいい特許を作り、それを社会課題の解決のために使う努力をしてまいりました。

世の中に社会課題は数多くあるわけです。気候変動、脱炭素、それからサーキュラーエコノミー、自然、森と海を守らなきゃいけない。日本の場合は災害がいっぱいあり、安全な都市を作っていかなければいけない。これは考えますと、国際的に共通の課題ばかり、だと思えます。

持続可能な社会、SDGs を実現する社会を作る。これらは考えると正に建設会社の使命と言えることばかりです。私はこのチャレンジをしていくためには、若者が新しい発想を持ち、情熱を持って取り組むということが非常に重要だと考えております。

若者が仕事の現場でちょっとした気づき、何かやってみたいなって思う発想、それをすぐに試みることができる環境っていうのが重要です。弊社では、そういう若者が自分で考え、行動し、自ら成長していくという風土、これを育てていくということを重要視しております。

それに加え、特許というアイデアを形にしていかなければいけない。そのためには制度、教育が重要です。我々は昔から若者を対象に教育制度をつくっており、たくさんの教育をしてまいりました。それに加え、知財を作った人を褒める、表彰する社長賞を作りました。

その中で、特に若い人に元気になってほしいと、アイデアを自分でどんどん出し、実現してほしいということで、若手への奨励賞を作り、進めております。

こういうような取り組みっていうのが、今回この素晴らしい賞をいただいたところにつながったのかと思っており、弊社知財関係者及び社員全員、非常に喜んでいるところでございます。

若者、我々会社の中の社員だけではなくて、スタートアップも含め、アイデアをしっかりと社会に実装するためには、オープンイノベーション、また特許庁さんが進められている I-OPEN、こういう取り組みを進め、社会課題の解決に励んでいきたいと考えております。

今回受賞をいただき、WIPO 並びに特許庁関係者の皆様に本当に心より感謝しております。ありがとうございました。